

中部方面混成団創立10周年 大津駐屯地設立58周年



MACB
QRコード

編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

TEL077-523-0034

記念行事盛大に開催

入場者数
9,173人

平成二十九年五月六日、中部方面混成団及び大津駐屯地（団長兼大津駐屯地司令佐藤正典一佐）は、滋賀県知事、大津市長、国会議員をはじめ、多数の来賓のご臨席のもと、団創立十周年、駐屯地創設五十八周年記念行事を開催した。

今年の記念行事は曇り空のもと、時より雨が降り、F15祝賀飛行、空挺降下は中止されたものの過去最高となる九千名強の来場者で賑わい、来隊された方々から混成団及び大津駐屯地に対する一層の理解を得ることができた。



観閲官 佐藤 1 佐



観閲部隊指揮官 齊藤 1 佐

記念式典には副団長（齊藤一佐）を部隊指揮官として団隷下部隊が参列、観閲行進では中部方面音楽隊を先頭に団隷下部隊に加え、各支援部隊の車両が行進を行い、来場者から大きな喝采を浴びた。式典後は、中部方面音楽隊とらっぱ隊との合同吹奏、大津駐屯地名物である新隊員による自衛隊体操、迫力満点の模擬戦闘が行われた。また、戦車・高機動車試乗や体験乗船も催され、盛況のうちに終了した。

記念行事の様子



感謝状贈呈者

混成団長感謝状

- 中部方面混成団友の会 山本 大 様
- 第四十七普通科連隊 O B 会 様
- 第四十九普通科連隊後援会 中西 敏敬 様
- 第四陸曹教育隊友の会 間宮 茂樹 様
- 第一〇九教育大隊友の会 橋本 正明 様
- 第一〇教育大隊教友会 矢田 正美 様
- 第一〇教育大隊教友会 横井 秀幸 様
- 駐屯地司令感謝状
- 大津自衛隊協力会 荒木 幹雄 様
- 大津駐屯地業務隊OB会 小斉 精二 様

中部方面混成団 集 中 野 営

混成団は、五月二十六日から六月七日まで、あいば野演習場（滋賀県高島市）において第一次混成団集中野営を実施した。本野営では、第四十七普通科連隊及び第四十九普通科連隊の各種射撃訓練、第四陸曹教育隊の入校学生、第一〇九教育大隊の新隊員らの各種訓練を実施し、各部隊合せて一四八一名が参加した。

中でも、第一〇九教育大隊の新隊員五〇四名は、厳しい暑さのなか、掩体構築訓練では、自身の体がすっぽり隠れてしまう大きさの掩体を構築するとともに、新隊員教育の山場の一つである二十五キロ行進訓練では隊員相互に励まし合いながら歩ききり、ゴールとなる大供蔽舎では大隊長が隊員ひとり一人を拍手で出迎えた。また、団長は日毎に自衛官らしい顔つきになっていく新隊員や二個の普通科連隊の実射射撃訓練及び第四陸曹教育隊の各課程の訓練等を精力的に視察し、隊員を激励した。

雨に見舞われる日もあったが、梅雨入りしたとは思えない猛暑の中、各部隊は無事訓練を終えた。



団長による訓練視察
(49連隊)



大隊長による出迎え
(315中)



総合訓練（上中）



25km行進訓練（314中）



普戦協同訓練（普中）



87ATM射撃（47連隊）



掩体構築（315中）



総合訓練（共中）



実弾射撃訓練（普中）



87ATM射撃（49連隊）



訓練後の慰労会（316中）

〜初めての野営を振り返って〜

第三一四共通教育中隊

自衛官候補生

益満 円香



前期教育において一度しかない野営訓練で区隊全員が同部屋で寝食を共にしました。初めての野営で印象に残った事は訓練間、諦める者が誰一人としていなかった事です。

特に行進訓練は暑さと疲労を体感しながらもお互い切磋琢磨し乗り越えたことは自信へと繋がりました。仲間への思いやりと全員で成し遂げる事の大切さを感じた訓練でした。

第三一五共通教育中隊

一般陸曹候補生

植田 光俊



初めての野営でしたので身を引き締めて荷物をまとめました。環境が違っても身辺整理等、時と場所を問わず活動できる自衛隊を実感し、またそれが出来た自分に自衛官としての自信が持てました。

特に掩体構築が印象に残り、仲間と助け合い無事構築し任務を達成する充実感を得られ大変良い経験となりました。

第三一六共通教育中隊

一般陸曹候補生

山本 銀河



初めての野営訓練で最も印象に残っている事は行進訓練で区隊全員が無事完歩出来た事です。行進中、体調を崩す仲間もいましたが同期で励まし合い、力を振り絞って完歩しました。私はそんな仲間に出会え大変誇りに思います。



充実即応予備自衛官招集訓練！



COPの行動



漕舟訓練



熱心に指導する小山即応予備3曹



戦闘指導（連隊指揮所）

連隊（連隊長 高山一佐）は、平成二十九年六月十五日から二十日までの間、訓練検閲初受閲に向け、連隊練成訓練を実施した。本訓練は、陣地防衛における防衛準備間の各級指揮官の指揮手順及び幕僚活動、隊員の基礎動作、特に敵を意識した行動を演練した。

また、七月六日、第一中隊（中隊長 桂三佐）は、香川県三豊市大浜海水浴場で災害派遣に備えた水難救助訓練を行った。この水難救助訓練は、溺者救助法、偵察用ボート漕舟要領について行い、赤十字救急指導員（ライフセーバー）の資格をもつ小山即応予備三曹が教官として、知識の有無、練度の違いが人命救助に大きく関わってくることから、正確な動作が出来るようわかり易く教育し、豪雨、津波発生時に即応できることとく練度向上に努めた。

第1次連隊野営訓練



87式対戦車誘導弾射撃

我ら49連隊

一発必中の信念で射撃

連隊（連隊長 茅野一佐）は、平成二十九年六月五日から八日までの間、あいち野営習場（滋賀県高島市）において平成二十九年年度第一次連隊野営訓練を実施した。

本野営は、第二次即応予備自衛官招集訓練の一環として行い、八一ミリ

迫撃砲射撃（各隊誘導）の射撃訓練は、梅雨の日の影響で、午前中雨となり、午後からは曇り、気温も低く、射撃の妨げとなる。しかし、隊員たちは、一発必中の信念で射撃に臨み、目標を正確に射撃し、命中した。この結果、隊員たちの射撃力は、ますます向上した。また、射撃訓練を通じて、隊員たちの士気も高まり、連隊の一体感が醸成された。



直接声を掛け即自隊員を激励する混成団長



迅速的確な照準をする隊員[81M射撃]



一発必中の信念で射撃に臨む隊員[87ATM射撃]

第四陸曹教育隊



平成二十九年教育開始

隊（隊長 井川二佐）は、四月一日より第六〇期生徒陸曹候補生課程を皮切りに、同月四日第一三一期（二次）陸曹候補生課程及び第一三〇期初級陸曹特技課程、同月十一日第六三期方面陸曹基礎英語課程、同月十二日第一八一期陸曹上級課程の五個課程計二九九名の教育を開始した。学生達は、入校式にて第四陸曹教育隊長が式辞で述べた「足腰の強い部隊の屋台骨たる陸曹」、「俺を見よ、俺に続け」というリダクションを發揮できるがごとく自ら鍛えよ」の言葉を具現すべく寸暇を惜しんで、自らの目標に向け努力を重ねるとともに、同期との絆を強固にして、六月十六日に陸曹上級課程、二十二日に陸曹候補生課程及び初級陸曹特技課程、二十三日に生徒陸曹候補生課程、七月十三日に陸曹基礎英語課程卒業式を迎え、教育成果の發揮すべくそれぞれの部隊へと帰隊した。



初級陸曹特技課程 (LAM縮射撃)



生徒陸曹候補生課程 (障害通過運動)



基礎英語課程 (英語発表会)



陸曹候補生課程 (外哨訓練)



上級陸曹課程 (ラックサック)



初級陸曹特技課程 (迫撃砲訓練)

初級陸曹特技課程

第一〇九教育大隊



一般陸曹候補生
自衛官候補生(女子) 修了式



感謝の言葉を述べる新隊員

第一〇九教育大隊（大隊長 佐伯二佐）は、平成二十九年六月二十五日に大津駐屯地において第十期一般陸曹候補生三四六名、平成二十九年自衛官候補生一五七名の修了式を実施した。新隊員は逞しい姿に成長し、充実感をかみしめていた。

本教育は、約三ヶ月に渡り実施され、班長指導の下、日々の訓練で汗を流し苦楽をともにした。

今後、新隊員は全国各地に配属され、自衛隊での経験を積んでいく。今後の活躍を祈念し、大隊一同見守っていきたい。

激動の3ヶ月



実弾射撃



25km行進訓練



戦闘訓練

第二〇教育大隊



平成29年度 一般陸曹候補生課程教育修了

第二〇教育大隊（大隊長 藤井二佐）は、七月一日に善通寺駐屯地において第十期一般陸曹候補生課程教育の修了式を実施した。 三七八名の新入隊員は四月一日に善通寺駐屯地に着隊して以来、三ヶ月間の厳しい訓練を同期と共に克服してきた。成長した彼等の顔は、自信に満ち溢れ、来賓並びに家族の方々を驚かせていた。 今後はそれぞれの職種や任地で専門的な教育を受ける事となるが、この三ヶ月間の経験や思い出し、同期との絆を糧に、更に育つてくれることだろう。



善通寺の地において最後の大隊歌合唱



香色山登山走



25km行進訓練



戦闘訓練

目指せ！ 方面ナンバーワン戦士

中部方面混成団

ナンバーワン戦士



体力検定

（男子） 49連隊4中隊 300点
3曹 神石 元



（女子） 団本部総務科 300点
3曹 板口 祐美



射撃

（89式小銃） 49連隊本管中隊 49点
2曹 木村 厚志



（9mmけん銃） 49連隊1中隊 116点
1曹 松原 健治



TOEIC

4曹教共中隊 895点
1曹 遠藤 夏雄



以上の隊員が平成二十八年度混成団ナンバーワン戦士です。

※「かけはし」誌面上の企画記事です。

新隊員を見送って思う事

今年初めて混成団最前任上級曹長として新隊員の入隊式・修了式に出席しました。

過去には、新隊員教育隊の班長として入隊式・修了式に参加した経験はありますが、最前任上級曹長としての参加は初めてでした。

初々しい彼、彼女たちの姿を見て、今から三十一年前の自分を思い出すとともに、宣誓をしたその時の気持ちを今も覚えています。

全寮制高校を卒業した私は集団生活に対し何の抵抗もなく、むしろ寮の部屋より多くの同期との起居を共にした営内生活や教育訓練は毎日が楽しく充実した日々を送った様に思います。

今でも、現役及び任期満了退職した同期と年に一度ですが、当時の班長を囲み酒を酌み交わしています。

新隊員の彼・彼女たちには、前期教育の出会いが一期一会になる者もありますが、そうではない生涯にわたる関係を続けてもらいたいと願っています。

そして彼・彼女たちは今後、楽しい事・辛い事をたくさん経験しこれ乗り越えて行き、色々な経験を将来陸曹となり、我々の後輩として、一人でも多くの者が最前任上級曹長目指してくれる事を願っています。

後期教育は慣れない環境での教育訓練と思いますが、健康に気を付け、一歩一歩着実に実力をつけ強い自衛官になってもらいたいと思います。

混成団最前任上級曹長

混成団最前任上級曹長





中部方面混成団長賞

第三一四共通教育中隊

自衛官候補生 林 貴美華



当初私は、人の役に立ちたいという思いで入隊しました。濃い三ヶ月間を過ごし、責任の重みを深く感じることが出来ました。

また、大切な仲間と出会い、とても充実し勉強になりました。三ヶ月の中で自分の考えが変わり、目標を掲げ一つ一つ達成する事が出来ました。

まだまだ未熟ですが自分に負けず立派な自衛官を目指し、目標を高く持ち日々の訓練を大切にしようと思えます。

第三一五共通教育中隊

一般陸曹候補生 大西 和希道



この度、こうして受賞できましたのも私個人の力によるものでなく、中隊長をはじめ区隊長、先任助教、各班長等のご指導によるものと深く感謝致します。

厳しくも心優しい諸先輩方が、私の理想であり目標となっております。

今後苦しいこともあるとは思いますが、立派な自衛官を目指して日々精進していききたいと思えます。

第三一六共通教育中隊

一般陸曹候補生 伊勢 千紘



入隊した当初、全ての事が初めてで不安でもあり楽しみでもありました。しかし指導部の方達が道を示して下さいました。その道は険しく何度も壁に突き当たりましたが、同期の仲間と協力し合い乗り越える事が出来ました。

前期で教えていただいた事を忘れず、感謝の心を持ち、引き続き後期教育に励んで参ります。

第109教育大隊長賞

第三一四共通教育中隊

自衛官候補生 川勝 和



三ヶ月を振り返って私は、多くのことを学びました。入隊当初は初めてのことばかりで行動も遅く時間だけが過ぎていきましたが、次第に時間の使い方も分かるようになりました。

そして同期の大切さを知った三ヶ月であり自分に負けそうな時でも同期の支えがあり乗り越える事が出来ました。私自身とても成長することが出来た三ヶ月でした。

第三一五共通教育中隊

一般陸曹候補生 上林 拓未



私は、前期教育を修了するにあたり教官助教の方々のご指導、そして中隊の同期の存在があったからこそ教育を終える事ができました。

後期教育も慢心することなく努力を積み重ね、班長のような陸曹になれるように日々精進したいです。

日々多様化する任務の中で部下に範を示せる陸曹像を目指し前期教育で学んだ事を大切にしていきます。

第三一六共通教育中隊

一般陸曹候補生 内田 達也



期待と不安が入り混じった着隊の日から慣れない共同生活、厳しい訓練、時間に追われる日々でしたが少しずつ慣れていきました。ある時、区隊長から「何の為に訓練をしているのか考える。」と言われて以来、日々の訓練や心に変化がありました。そして同期の存在が大きくなり同期の絆に思えるようになりました。素晴らしい同期の絆に出会えて本当に良かったです。

新入隊員諸官へ

第一〇九教育大隊長

二等陸佐 佐伯 智



平成二十九年年度新入隊員五〇三名の諸官、教育修了おめでとう。

思い起こせば四月始めに不安な気持ちで大津に集まった若者が約三ヶ月の教育を経て、ここまで立派にたくましく成長してくれた姿を目のあたりにして大隊一同心から喜びにたえません。諸官の成長の様子は大隊長自身、映像記録の際にもこの眼で感じていました。

特に今年は梅雨入り後も雨が少なく、暑さと土埃に耐えながらひたすら匍匐・早駆けした戦闘訓練等、辛いことが多かったと思えますが、

大隊長が教育開始当初に要望した『苦しいときの笑顔』を忘れることなく同期の絆を信じていつも明るく教育に臨んでいた姿に本当に感動させられました。

いよいよ大津を巣立ってそれぞれの地で第二ステージの始まりですが、大津で培ったことを胸に更なる飛躍を祈っています。諸官の明るい今後に幸多からんことを祈り、はなむけの言葉とします。

三ヶ月間本当にお疲れ様でした。

第10期一般陸曹候補生、平成29年度自衛官候補生
～同期の絆～

第314 共通教育中隊



第315 共通教育中隊



第316 共通教育中隊



第一一〇教育大隊



第三一七共通教育中隊
日和佐 公大

本課程教育を修了するにあたり、このような賞をいただき大変ありがたく光栄に思っています。着隊当初の私は、目立った体力や知識を持っていたわけでもありませんでした。しかし、教官や助教の方々と同期の仲間たちに恵まれ、日々切磋琢磨していくことで、徐々に自分を成長させることが出来ました。その一つの成果として、中隊の香色山登山走優秀班の獲得と、体力優秀班の称号を守り抜くことが出来ました。これらは同期の団結があつてこそその結果だったと思います。今後は、後期教育や一般部隊に配属されてからも本教育間で学んだことを自分の糧とし、離れ離れになる同期と更に競い合えるよう努力を続けていきたいと思えます。



中部方面混成団長賞



第三三二共通教育中隊
景山 拓美

この三カ月の前期教育は濃いもので様々な経験を積む事ができ、その経験を通し成長できた部分が多々あつたと思います。その中で最も変わったと思う部分は、責任を持つことです。自衛隊では銃を扱い、組織で連携するため正確な報告を行い、部品の脱落、故障が無いか何度も確認を行うなど、様々な場面で責任を問われます。これらが一つでも疎かになると、いつか訪れる有事の際に機能しなくなりますが、機能しないという事は、家族、友人、国民の命など、大切な人の命を救うことができなくなるということです。責任の重さは命の重さであることが非常に良く分かりました。少しづつですが自分も意識をして考え行動していくことができたと思えます。



第三三三共通教育中隊
山中 一生

私は、前期教育を修了して信頼関係がいかんにかを実感することが出来ました。個々の能力が低くとも全員が団結していれば何かを成し遂げることが出来ます。その団結を強くすることが出来るのが信頼関係です。私は教育期間中、己を犠牲にしても周りの仲間を助けるという気持ちで行動しました。その結果、仲間も助けてくれるようになり、信頼関係が生まれました。時には争いもありましたが最後には、お互いを信じ合えることが出来ました。この三カ月は人として成長できた一生の宝物です。後期教育では、新たな仲間と一からのスタートです。今まで培った能力を最大限に生かし、理想とする自衛官を目指して日々精進します。



第三一七共通教育中隊
水谷 速人

前期教育で自衛隊員の基礎知識や心構えを学びました。教育中、指導で涙を流し辛い時期もありましたが、同期の励ましにより耐えることが出来ました。仲間の存在が自分を強くするということを通して身を通じて実感しました。

第一一〇教育大隊長賞



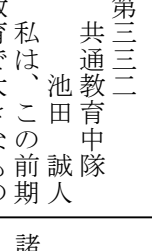
第三三二共通教育中隊
中西 順也

前期教育を通して、自衛官としてあるべき姿や時間の使い方など、多くを学ぶことが出来ました。困難なこともたくさんありましたが、心身ともに鍛錬することができ、教育に携わっていただいた教官の方々に感謝しています。



第三一七共通教育中隊
久保田 悠斗

新隊員前期教育の間で特に一番印象に残ったことは、挑戦し努力し続ければ自分自身が成長し、同期みんな張り続ければ自衛



第三三二共通教育中隊
池田 誠人

私は、この前期教育で大きなものを得ました。それは同期の絆です。同じ釜の飯を食べ、一緒に部屋で寝て、今では、当たり前になりました。後期教育はバラバラになりますがこの教育は、一生の思い出になりました。



第三三三共通教育中隊
小野 莉希

前期教育を終えて、連帯責任の重みを知れたと思います。一人がどれだけ完璧でも一人が出来ていなければ、全て意味がなくなりません。一人で完璧を目指すより、みんなで成功を大事にすべきだと考えます。

新隊員への言葉

第一一〇教育大隊長
二等陸佐 藤井 鉄也

第十期一般陸曹候補生三七八名の諸君、前期教育の修了おめでとう。四月に着隊した際の君たちの不安と期待が入り混じった眼差しが、今では別人のように目には力が溢れており、達成感と自信に満ち溢れています。三ヶ月の教育期間中、君たちは一つ一つ厳しい教育を乗り越え、逞しさを身に付けていきました。これから君たちは、後期教育のため全国に旅立ち、それぞれの職種を学び、その後部隊に配置されます。そこではこれまで以上に厳しい訓練が待っているでしょう。人間関係で悩むこともあるでしょう。そんなときは是非、前期教育の区隊長や班長を頼って連絡してください。悩みを打ち明けることは生きていくうえでとても大切なことです。君たちの成長を願って止まない区隊長、班長はきっと良いアドバイスをくれるはずですよ。今の日本は本当に平和です。それは、われわれの先輩が黙々と任務に精励し、訓練に励み、抑止力として重要な責任を果たしてこられたからです。そして今、国の安全を守るといふ大切な仕事を選んでくれた君たちが、これからも平和な時代を続けていくために諸先輩からバトンを受け継ぎ、国民の期待に応え、平和の恩恵をみんなが受け続けられるように、さらに努力して立派な自衛官を目指してください。



第1区隊



第2区隊

第三二七共通教育中隊



第3区隊



第4区隊



第1区隊



第2区隊

第三三二共通教育中隊



第3区隊



第4区隊



第1区隊

第三三三共通教育中隊



第2区隊

小林鷹之防衛大臣政務官来隊

梅雨の中休みの六月十二日、小林鷹之防衛大臣政務官が大津駐屯地に来隊された。

正午前に滋賀一区選出の大岡衆議院議員と共に到着された小林政務官は、駐屯地各部隊長との会食及び状況報告を受けた後、第一〇九教育大隊第三一四共通教育中隊の女性自衛官の営内居室及び戦闘訓練を熱心に視察された。

視察を終えられた小林政務官は団長をはじめ、各部隊長等と固い握手を交わし、大津駐屯地を後にされた。



記念撮影
(中央左 小林政務官、右 大岡議員)



第314共通教育中隊
営内居室を視察



状況報告受け



団長と握手を交わす小林政務官



戦闘訓練視察 (中央右 小林政務官)



後輩は自ら獲得!

隊員自主募集優秀部隊表彰



混成団は、平成二十九年七月十日にホテルグランドヒル市ヶ谷で実施された「平成二十九年全自衛隊地方協力本部長会議」において、陸上幕僚長より、平成二十八年度における隊員自主募集において、1佐級指揮官の部で「全国1位」の成果をあげた功績により、優秀部隊の表彰を受けた。



馬に癒されてみませんか?



和服美人目指し、勉強中です

☆興味・習い事
乗馬(障害馬術)・着物

- ☆出身 大阪府枚方市
- ☆職種 航空科(航空気象)
- ☆家族 父(予備自)・母(予備自)弟(現職自衛官)



プロフィール

主な担当業務は写真撮影、ホームページ、施設利用、機関誌「かけはし」です。実は、写真は撮るより撮られる方が好きなんですけど、皆さんの活躍をかつこよく撮れるように、がんばります。よろしくお願ひします。

はじめまして



かけはしの
新担当です!

混成団の皆さん、はじめまして! 平成二十九年三月の異動で、広報室の一員となり、この「かけはし」の担当になりました。板口3曹です。よく「さかぐち」と間違われますが、「いたぐち」です!